【障害者の暮らし】地域の中でともに暮らし、活動できるまちづくり

■**障害者地域生活支援事業**　35、354千円
よりいジョブセンターとの連携により、引き続き障害者の雇用機会の拡充と就労の場の確保に努めます。
また、障害者が利用できる各種サービス等の紹介や手続き方法の説明などを掲載した「障害者の福祉ガイド」改訂版を作成して対象者に配布するとともに、「寄居町障害者計画・第3期寄居町障害福祉計画」が今年度満了となるため、障害者施策を総合的、かつ計画的に推進するため、新たな3カ年計画を策定します。

【保健・医療】健康で、安心して暮らせるまちづくり

健康づくり・チャレンジポイント対象事業

■**健康づくり推進事業**　3、851千円

■**健康診査事業**　29、314千円
健康づくり・チャレンジポイント事業は、町民の皆さんの健康づくりに対する意識高揚を図るとともに、自主的な健康づくりのきっかけづくりのため、現在進行中の第3弾について引き続き推進します。
また、女性特有のがん検診および大腸がん検診で、引き続き検診手帳やクーポン券の発行などにより成人の健康づくりの推進を図るとともに、各種がん検診と特定健康診査等のセット検診により相乗的な受診者数の増加につなげていきます。

■**医療体制強化事業**　44、609千円
比企・大里・秩父地域の高度医療と救急体制を確保しつつ安全・安心で質の高い地域医療に大きく貢献している小川赤十字病院の建替えに伴う費用を関係市町村が財政支援を行うに当たり協議会が設立され、当町もここに参加し、協議会として応分の負担を行うとの方針に基づき、所要額を予算措置しました。

3　心地よい生活が実感できるまち「快適」

【生涯学習】生き生きと学び、活動できるまちづくり

■**生涯学習推進事業**　11、700千円
パティオとアクアピアへの入場を無料とする町民健康増進ウィーク推進事業を引き続き実施し、町民の健康保持と増進に努めます。
また、これまで計画的に整備を進めてきたテニスコートについて、本年度残る1面の改修により事業を完成させるための工事費を予算計上しました。

【住環境】生活環境の快適性を高めるまちづくり

■**街路整備事業**　122、101千円
男衾駅東口・西口通り線の整備を推進します。なお、国の「好循環実現のための経済対策」で、男衾駅周辺地区の整備を一部前倒しで実施することから、その整備に係る所要額を平成25年度3月補正予算に予算措置し、全額を繰越明許とし本年度予算と一体的に推進します。

■**男衾駅自由通路整備事業**　100、000千円
都市再生整備計画に基づき、男衾駅・自由通路の整備を平成26年度から平成28年度までの3カ年継続事業として実施するための鉄道事業者への負担金を予算計上しました。

■**中心市街地活性化事業**　3、703千円
寄居駅南地区については、昨年度に作成した基本計画素案を基に関係機関との調整を行い、中心市街地活性化計画の国の認定に向けた協議を推進します。

【交通の安全と利便性】交通の安全と利便性を高めるまちづくり

■**公共交通機関整備促進事業**　30、866千円
本運行2年目を迎えたデマンドタクシー（愛のりタクシー）については、安定的な運行を実施するとともに乗合率の向上を図り、安全性と利便性の確保による活力ある町の交通体系の構築に努めます。
また、町内を運行する路線バスの地図を新たに作成するとともに、県北都市間路線バスについては利用者増を目的としたルート変更を関係自治体で組織する協議会を通じて進めます。

■**広域的な道路網の整備**　271、570千円
ホンダ寄居工場の本稼働に伴い、国道254号を補完しバイパス機能を持つ町道227号線（寄居・小川地区道路）の整備を促進し、本年度の完成を目指します。
また、関越自動車道（仮称）寄居PAスマートインターチェンジ整備事業については、周辺地域への企業進出による地元雇用および災害発生時の迅速な物資輸送や人命救助等の効果が期待できることから、関係地権者のご理解とご協力をいただき、今年度は用地取得等を行って関係自治体等と連携し事業の進捗を図ります。

【まちの安全】こころやすらかに暮らせるまちづくり

■**防災対策事業**　34、782千円
避難所となっている中学校には、昨年度に続いて本年度は残る2校に防災備蓄倉庫を整備します。
また、町内に設置された自主防災組織の活動強化を図るため、地域防災活動に必要な防災資機材を計画的に整備し、訓練活動等の活性化を図ります。

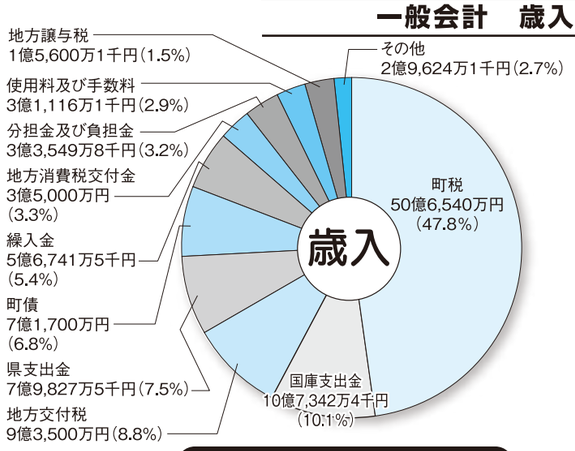
■**消防事務委託事業**　569、580千円

■**消防団施設維持管理事業**　13、210千円
深谷市消防本部の消防救急無線のデジタル化に合わせた消防団車両等への機器設置をはじめ、常備消防事務を継続して深谷市に委託するための所要額を予算措置しました。

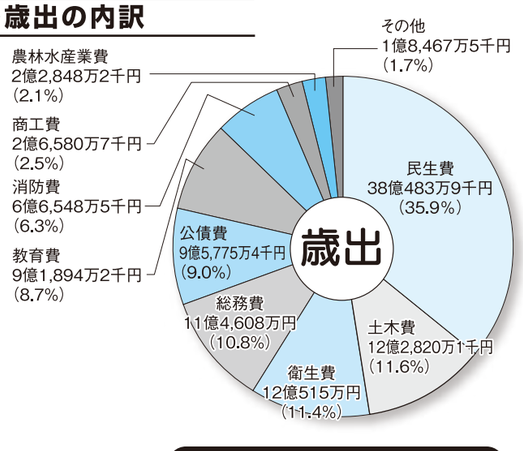
平成26年度当初予算額

一般会計	106億541万5千円	前年度比 0.8%増
国民健康保険特別会計	45億8,740万7千円	前年度比 1.5%増
後期高齢者医療特別会計	3億2,437万7千円	前年度比 4.5%増
下水道事業特別会計	4億2,828万3千円	前年度比19.1%減
農業集落排水事業特別会計	8,529万5千円	前年度比 2.4%増
水道事業会計	13億3,200万8千円	前年度比 4.8%増

一般会計　歳入・歳出の内訳



歳入合計　106億541万5千円



歳出合計　106億541万5千円

【環境保全】ひとにまちに、地球にやさしいまちづくり

■**エコタウン推進事業**　11、475千円
エコハウス推進事業を町民がより利用しやすい内容に制度を改正し、先進的な環境調和型のまちづくりを進めます。

4　活発な交流の中、はつらつとチャレンジするまち「活力」

【ビジネス創造】活力ある産業が育つまちづくり

■**労働支援事業**　16、858千円
就労支援については、よりいジョブセンターで職業相談や職業紹介、内職相談、合同就職面接会、セミナー等の幅広い支援活動を行い、多くの皆さんにご利用いただき着実に実績を上げています。親身な対応に努めるとともに、一人でも多くの方が職に就くことができるよう支援を行います。

■**工業振興事業**　39、739千円
中心市街地活性化や中小企業の経営基盤強化に先導的な役割が期待される商工会などを引き続き支援します。特に本年度は、昨年盛大に開催されたふるさとの祭典市に対する支援などを拡充し、商業の活性化を進めます。
また、4月の消費税率引き上げに伴い、購買意欲の冷え込みが懸念されることから、プレミアム付き商品券を発行する実行委員会への補助により、商業振興、特に小売業支援に努めます。

5　明日を見つめ、互いに力をあわせるまち「協働」

■**開かれた町政を推進するまちづくり**　22、492千円
広報誌や公式ホームページの充実に努めるとともに、各種審議会や委員会の開催、町長への手紙・FAX・Eメールなどを通じて町民の意見や要望の把握をするほか、パブリック・コメント制度を活用するなど、さまざまな方法により町民意見を集約し、町政に反映していきます。

■**効率的効果的な行財政システムの構築を目指したまちづくり**　50、759千円
収納業務について、口座振替やコンビニエンスストア収納の利用拡大に向け、各種周知方法により勧奨するとともに、納税呼びかけセンターを継続します。
また、電子申告制度の普及拡大を進めるとともに、本年度から軽自動車税の車両登録の電子化や収納業務の領収日管理システムの導入により、地方税の電子化の推進に努めます。
問い合わせ／財務課（☎581・2121内線321、323）へ。